

飛鳥資料館のみどころ (5)

—特設コーナー「キトラ古墳壁画」の新設—

この度、飛鳥資料館では、キトラ古墳の最新の調査成果を紹介するコーナーを、地階特別展示室の隣に新設いたしました。

今年に入り、キトラ古墳の調査が進むにつれて、壁画の詳細が明らかになってきました。と同時に、その成果の公開も望まれるようになってきました。

当資料館では、文化庁の協力を得て、新聞紙上などに提供された情報をいち早く皆様にご覧いただけるように、今回の展示を企画いたしました。

現在は、先に新聞紙上を賑わせた、十二支の寅



像や青龍の赤外線デジタル写真を中心に、その関連資料として、中国・唐代の俑（土製人形）や朝鮮半島の統一新羅の蠟石十二支像などの写真パネルを展示しています。その他、以前、当資料館で公開した朱雀や白虎、天文図なども同時に展示していますので、キトラ古墳壁画全般における最新の写真を見ることができます。

また、今後、発表された新しい情報を適宜、展示替えをおこないながら、提供していきたいと思っておりますので、今回は特に期間を設けずに、当面の間、公開していきたいと思っております。

新聞やテレビのニュースなどでしかご覧いただけなかった、キトラ古墳壁画の世界を堪能してみたいはいかがでしょうか。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。

(飛鳥資料館 西山和宏)